



町報

よぶこ

発行 呼子町・編集 企画課・印刷 唐津印刷有限会社

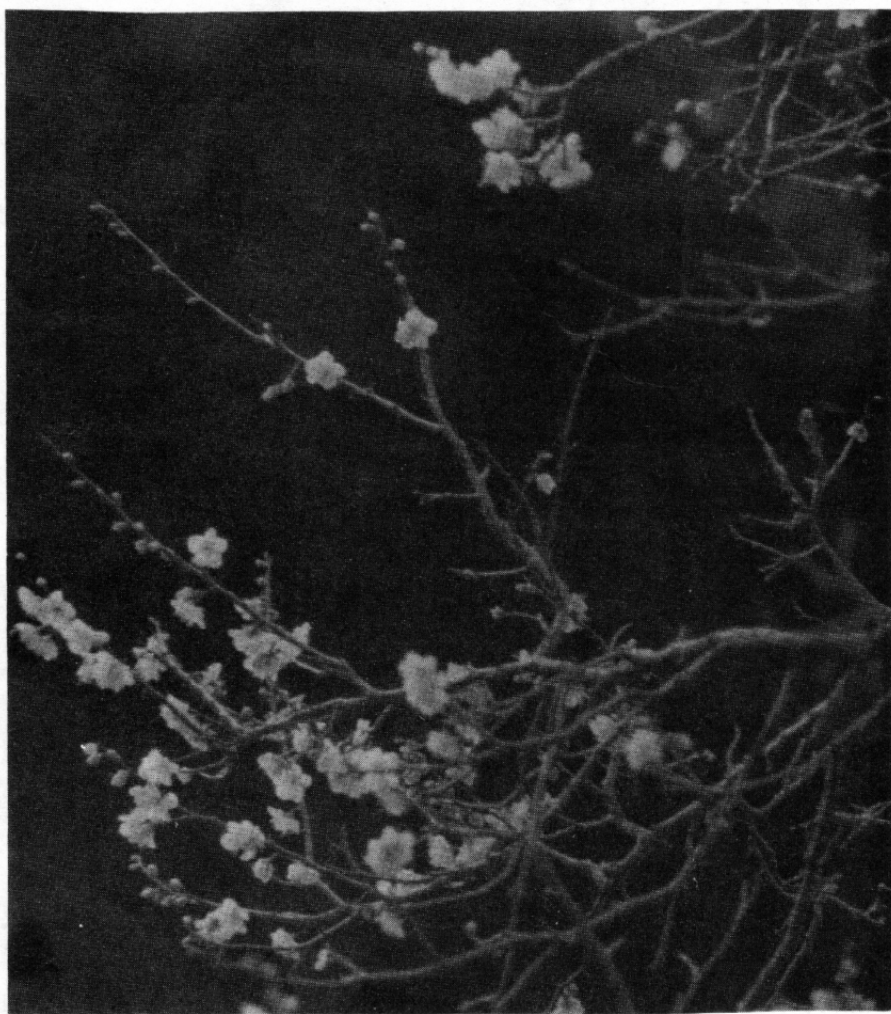
町勢	
昭和53年1月末現在	
住民基本台帳による	
人口	男 3,700人
	女 4,003人
	計 7,703人
世帯数	2,016世帯
一戸平均	3.86人

春一番

二月も半ば過ぎ、ようやく春めいた日差しに誘われて、県内の梅林にぎわい始めるころ、よく日本海に低気圧が現われ、強い南風

を壱岐の島や、玄海灘に送り込みます。この南の強風を「春一番」といいます。いかにも春を告げるイメージにふさわしい呼び名であります。この言葉の発祥地といわれる壱岐の島の漁民の方々は、恐ろしい風を警戒する祖先の教え

として受けとめてきました。もともと春一番とは、立春以後、二月の後半から三月にかけて一番最初に吹く南の烈風をいい、壱岐では、ジバエ（南南東の風）マバエ（南南西の風）などと呼ばれています。（田島神社にて）



静けさのどこか揺れるて梅白し 七采子

エ（南の風）が多いといえます。冬の天気は西高東低の冬型の天気図で代表され、壱岐の島でも北よりの季節風が吹きます。島陰にあたる南の入り江では、冷たい北風は避けられます。ところが、いったん、低気圧が日本海にはいつて発達すると、急に強い南風が吹き、玄海灘はもちろん、今まで比較的穏やかであった壱岐の南岸でも大シケとなります。今まで海上では、この烈風で多くの人命が奪われてきました。「南風が吹き荒れている間は、出漁をおそれよ」という先人の教訓が生活の知恵として守られているのです。さて、衰えたりとはいっても、まだ根強い勢力を保っている大陸の寒気と、日ごとに強まる南の暖気とが激突しやすいのが春の天候の特徴。移動性高気圧におおわれのどかな日が訪れたと思うと、まもなくボツ海湾や黄海に低気圧が発生、急速に発達して日本海に進んで来ます。低気圧は、しばしば一日に20ミルも深まる上に、足の早い草駄天（いだてん）低気圧のことが多く、さらに通過後、必ず寒気を呼び戻すから恐れられています。近年ますます海釣り、磯（いそ）釣りが盛んになっています。春の女神にみとれているすきに、冬將軍の強烈なパンチをくわぬように、新聞やテレビの予報に十分気を付けたいものです。

確定申告のご案内



所得税の確定申告は

3月15日(水)までです

期限間近になりますと混雑しますので
早目に済ませましょう!!

相談会場

唐津税務署及び

呼子町役場(税務課)

期 間

2月16日～3月15日

確定申告をされた方は事業税及び住民税の申告書を
提出する必要はありません

所得税・贈与税の申告はじまる

今年も確定申告のシーズンになりました。
所得税の確定申告は二月十六日から、贈与税の申告は二月一日からそれぞれ始まります。申告期限はどちらも三月十五日までですが、

期限間近になりますと税務署の窓口も大変混雑し、落ち着いて相談ができなかったり、長い間待つていただくようなことにもなります。から、申告はできるだけ早めに済ませてください。

所得税の確定申告が必要な方は、
①商売をしている方や不動産収入のある方などで、昭和五十二年中の所得が配偶者控除、扶養控除、基礎控除などの所得控除の合計額より多い人
②サラリーマンで、給与の年収が一千万円を超える人や給与以外の所得が二十万円を超える人などです。
なお、所得控除の主なものとは次

のようになっていきます。

基礎控除 二十九万円
配偶者控除 二十九万円
扶養控除 (一人) 二十九万円
社会保険料控除 支払額の全額
生命保険料控除 最高五万円
また、贈与税は、個人から財産をもらった人にかかる税金です。
贈与税の基礎控除は六十万円ですから、一年間に贈与を受けた財産が六十万円を超える人は申告が必要です。

町県民税 申告受付

町県民税の申告は3月15日までとなっております。町の税務課では、昭和53年度の申告受け付けを、次のとおり2月27日(月)から15日まで、社会体育館二階卓球室で行ないます。時間は各日午前9時から午後4時までです。尚おでかけのときには、印鑑、所得に要した資料、保険、医療費等の領収書などお持ち下さい。

そのほか、申告について詳しいことは、町税務課(②-3011内線16、17、18番)へお尋ね下さい。

日 程

2月27日(月) 殿之浦岡、西、浜
2月28日(火) 小友、大友
3月1日2日(水、木) 片島、加部島
3月3、4日(金、土) 小川島
3月6日(月) 先方町、海士町

釣町、小倉町

3月7日(火) 西中町、東中町、宮ノ町、天満町

3月8日(水) 松浦町、川端町

3月9日(木) 愛宕町

申告用紙は役場(申告会場)に用意しています。

本年四月より

国民年金保険料が上ります
定額一カ月二、七三〇円
附加一カ月三、一三〇円

福祉年金の支払月が変わりました

福祉年金を受けている皆さん、年金の支払月が変わったことは、もうご存知ですか。

今まで1月、5月、9月に支払われていましたが、お盆や年末に支払って欲しいという皆さんからの御要望により、12月、4月、8月に変更しました。

このため、4月は、今年最初の支払月になります。支払月の11日から支払いが開始されますので、早めに指定の郵便局へおでかけください。



君原さんとマラソン

体力づくり走法の勉強を

体力づくり運動を進めている町教育委員会は、メキシコオリンピックのマラソン銀メダリスト君原健二さん（新日本製鉄八幡）を招いて、小学生から一般までを対象としたマラソン教室を開き、出席者全員が君原選手から実技指導を受けました。

現在町では、これまで東松浦郡



君原さんといっしょだゾー

内でも陸上競技（特に長距離）人口が少なく、郡内一周駅伝大会など対外試合にもほとんど欠場していた。などのこともあって町が進めている体力づくり運動の一環として、町民こぞってマラソンをと教室を開いたものです。

1月29日のこの日は小学生から一般父兄まで約80人が出席、まず

呼中体育館で君原選手からメキシコオリンピックの話や、走法、マラソンの心がまえなど講義を受けました。子供たちは将来の国際ランナーの夢をいだいて、君原選手の話に熱心に聞き入っていました。また質問も出してやさしい答えに眼をかがやかしていました。また回し見にされた銀メダルを首にかけたりして喜んでいました。

この後グラウンドに出て柔軟体操をしたあと、大人も子供も一丸となって、君原選手からフォームや呼吸の仕方など走りながらの、実技指導を受けました。どうか皆さんこれからもマラソンを続けて下さい。

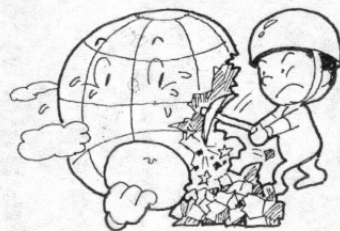
地球のエネルギー資源には限りがあります

日本は石油をはじめ、エネルギーの約九〇％を海外に依存し、特に石油はその九九・七％を輸入しています。そして電気の約七〇％はその貴重な石油を燃料とする火力発電所で作られています。

その石油も今のままではあとと三十年もすれば消費してしまいうともいわれています。

今後エネルギーの安定確保をしていくためには、残り少なくなつた石油への依存を極力抑え多様な資源からエネルギーを求めるとともに、地球のエネルギーを大事に使っていくことが大切です。

「電気も限りある資源の一つです。大切に使いましょう。」



「いつまで頼れるこの資源」

石油	あと29年
天然ガス	あと36年
ウラン	あと98年



無病息災祈って

殿之浦「田島さん」餅まき

一月二十日殿之浦「田島神社」

に昔から伝わる、二十日正月の餅まきが朝六時より行なわれました。この日は今年厄年や、還暦、喜寿の日を迎える人達が百二十個の紅白もちを作って神前に供え、祝詞が済んだ後、子供、大人、集まった二百人の人達にまきました。

毎年行なわれるこの行事に、子供たちも楽しい行事の一つとして心待ちにするようになりました。大人の方々も年の初めの話し合いの行事として楽しみが増していくようですので、心あたたまる行事として続けられることでしょう。



わずかな掛金（一人五百円）で万一に備える
交通災害共済に
家族ぐるみで、加入しましょう
3月5日迄に各区長さんまで加入申込み書提出下さい
3月5日以降は役場総務課で受付ます。

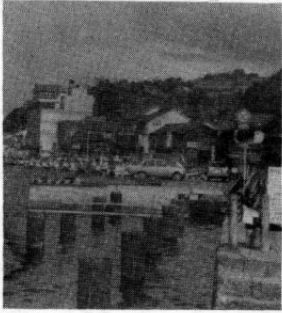
呼子町工事

このほどの入札は次の通りです。

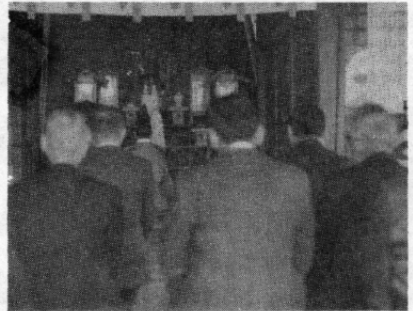
先方―岡線町道舗装工事―延長七百八十メートル、幅四メートルを千五万円で唐津土建が請け負い。工期一月二十五日から三月二十五日まで▽町道殿の浦西海岸線改良工事―延長五十三メートル、幅五・五メートルを久保建設が六百八十五万円で、工期同▽唐北高校線配水管敷改良工事―加圧ポンプ、井戸築造(十)―ポンプ場設置と配水管千七百五十メートル敷設など千五百八十六万五千円で呼子共同企業体が請け負い。工期一月二十三日から三月二十日まで。

呼子港局部改良 事業物揚げ場 増設工事

県事業で松浦町海岸に幅六メートル、長さ三十メートルの鋼管クイ打ち式で物揚げ場が建設中。唐津土建が千五百四十万円で請け負い。工期三月二十五日まで。



八幡神社にて



呼子地区交通安全協会の 交通安全祈願

1月14日午前10時から先方町「八幡神社」で、役員の方たち16人が交通事故による死亡者の冥福を祈ると共に、今年の地区の交通安全を祈願されました。

呼子署内の昨年中の事故発生件数は73件。死者2、傷者102人となっていて、前年に比べ28件の事故件数の増となっています。

唐津商業定時制 第二次募集の 場合について

県立唐津商業高等学校定時制では、働きながら学ぶ生徒の第二次募集を行なう場合は次の要領です。

〈入願期間〉

三月二十八日から四月四日

〈試験の期日〉 四月五日

〈合格者発表〉 四月五日

▼学力検査は実施せず、第一次募集での学力検査成績等にもとづいて選抜されます。

▼就職者等で特別な事情のため第一次募集において受検しなかったひとについては、作文と面接を実施し(四月五日に)これらの資料にもとづいて選抜されます。

▼募集人員等、募集確定の公示は三月二十四日頃、本校・各中学校・唐津新聞・テレビ等で致しますのでご留意ください。

▼定時制を卒業すると、全日制の資格と全く同等です。また教科書の無償、返還義務のない奨学金貸与(月額五千元、来年度は六千円の予定)完全給食など、いろいろな特典があります。

死因の6割が 成人病 早期発見が「カギ」

脳卒中、がん、心臓病など、いわゆる成人病による死亡者が増えています。



ここらみに、昭和五十一年の総死亡者七万三千二百七十人のうち、上位までの死亡原因を見てみますと、

(1)脳卒中―一七三、七一九人(二四・七%)

(2)がん―一四〇、八九三人(二〇・〇%)

(3)心臓病―一〇三、五九八人(一四・七%)

となっています。この三大死因はいずれも成人病で、その合計が五九・四%にもなっています。そのうち約六割の方が成人病で亡くなっているわけです。

成人病はどれも、初期の症状は問題にならないほど軽く、苦痛をともしません。自覚症状としては、高血圧になると物忘れをする場合があったり、肺がんではカゼでもないのにセキが出たりするていどです。

そのため病院にも行かず放っておく人が多いのですが、気がついたときはすでに「魔の手」につかまれ、取り返しのつかないほど病

状が進んでいる事例が多くあります。

しかも、成人病にかかる人は、男は四十歳以上、女は三十五歳以上の、社会的にも家庭的にも柱となるような人が多く、二重の悲劇になっています。

冬に多い成人病を防ぐために、この際ぜひ健康診断を受けましょう。

表面どんなに丈夫そうに見えても、健康診断を定期的に受けることが「丈夫で長持ち」のひけつです。

町収入役に丸井氏

町では、一月十四日開かれた臨時町議会で、十七日で任期切れとなります収入役前田真氏の後任として、役場建設課長の丸井正司氏の選任が議決されました。

前田収入役は、四十一年一月十八日、厚生課長から収入役に選ばれ三期勤務されました。丸井新収入役は、十二年四月役場に入り、税務、産業、総務、建設各課長を歴任され新収入役になられました。

町役場職員異動

一月十八日付にて収入役になられた建設課長の後任に、同課水道係長寺山東氏を建設課長心得兼水道係長として発令されました。

使う火を消すまで離すな目と心

春先は火災の多発期

春の火災運動はじまる

きたる2月28日から3月13日まで2週間、春の火災予防運動が実施されます。

火災原因の80パーセントは失火によるものです。長い歳月汗と脂で築いた財産も一瞬にして灰となり、又、火災に因る焼死、傷者も年々多くなっております。

私達も、家庭、職場において、暮らしの中の防火管理（町報・88号、89号詳細掲載）等について話し合い火災予防に協力致しましょう。

1、職場の防火及び避難管理

○ 終業時のたばこの吸いからの始末及び不用品の焼却には十分注意する。特に風の強い時は焼却は行なわない。

○ 火を取扱う場所、常に整理清掃をしておく

○ 避難階段、非常口、避難通路には避難の支障となる物を置かない。

○ 消火器具、避難器具はいつでも使用できるように整備しておく。

2、消火、避難訓練の実施

百貨店、マーケット、旅館、ホ

テル、病院、雑居ビル等多数の人が集まる建物の所有者、管理者は必ず年間2回以上訓練を実施する。なお、実施する場合はあらかじめ消防機関に通報する。

3、山林、原野の火災防止

○ 山林、原野、行楽地については、タバコの投げ捨てはぜつたしない。

○ 野焼き、くり焼きその他火入れなどは風の強い日は実施しない。

○ 火入れをするときは、実施3日前まで消防署又は最寄りの分署に届け出をし、実施にあたっては監視人をつけ、消火の準備をしておくとともに作業が終了したら完全に消えているか確かめる。

5、車輛の火災防止

○ 危険物は車内に持ち込まない。

○ 車輛には法で定められている消火器を備える。

6、サイレン吹鳴

期間中、毎日21時に30秒一声サ

寝る前に

火の元
点検
消火の
備えは
万全か



イレンの吹鳴をします。お寝みになる前、今一度、火の元の安全を確かめましょう。

消防活動に支障となる路上駐車はやめましょう。

唐津・東松浦広域市町村圏
組合消防本部・消防署

町老人ホームで

総合防火演習

町老人ホーム「延寿荘」では、1月31日午前10時より、同ホーム調理室を火元と想定して、75人の入居者の待避訓練と、広域消防北部分署の消火、救急訓練が実施されました。

調理室に発煙筒がたかれて、ホーム療母さんが一九番に通報、亦マイクでホーム内外の老人たちに知らせるとともに、他の療母さんや職員達は、受待各療棟の老人

の方々を整然と外庭に誘導しました。一方各要所に設置された防火戸を密閉。間もなく消防車が到着して消火活動開始、三百五十名離れた消火池からホースを連結。救急車もきて負傷者の救護に当られるなどテキパキとした活動でした。同ホームでは待避訓練は毎月行なわれていますが、今回の様な総合訓練が実施されたのは初めての事で、身動きの不自由なお年寄りの



佐賀農業確立基本 調査にご協力下さい

〈2月1日現在〉

県内いっせいに、「佐賀農業確立基本調査」が、二月一日現在で実施されています。

この調査は、最近の農業をとりまく諸条件の変化を的確には握す

るため、農業センスの中間年次に、農業の基本的事項の実態を調査し、佐賀農業の確立に必要な基礎資料を得るために行うものです。

調査員が、対象農家を訪問し、調査票への記入をお願いいたしますので、この調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。なお、調査票に書かれたことは、統計をつくる目的以外に使用することはありませんので、ありのままをお答え下さい。

あなたの街です。自然です。

吸がらの投げ捨てはやめましょう。



Smokin' Clean
スモキンクリーン

日本専売公社

退避や、遠いところからのホースの連結、建物内の防火処置など、万一のときのよい訓練になりました。たと皆さん話しておられました。

昨年の失敗もうたくさん

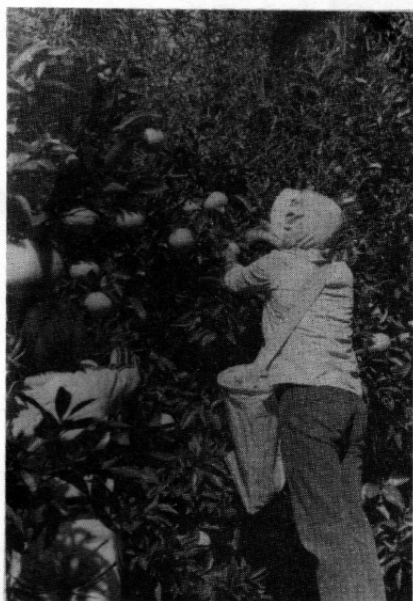
早目の甘夏ミカン摘果

甘夏ミカンの島加部島では、今ミカンの摘果が最盛期です。

これは例年なら3月末から5月の連休ごろまでにかけて収穫して、共同出荷されるのですが、昨年二月の大寒波の影響で果実が、酢上がりし、生産量の約4割が商品にならなかったため、ことは早目にもいっておこうというものです。

昨年の苦い経験にこりこりしての果実の緊急防寒対策ですが、もちろん加部島のミカン栽培始められて以来初のこころみ。

加部島の甘夏ミカン栽培面積は35ヘクタール74人の方が植栽していますが、もいであるミカンは取りあえず各家庭で貯蔵。また農協貯蔵庫にも入れることにしているが、



山口恵さんミカン山にて

農協側にも色々な事情があり、ミカン農家の人との説明会を予定しているとのと。どのミカン農家も納屋や土間おかれる処一杯に、囲えるだけはいでいでおこうと一生懸命です。

半面には昨秋からのミカンのだぶつきもあり、「呼子の甘夏みかん」と定評もあるものの、先行きにちよつと顔のしまる農家の表情でした。

春近し

田島神社節分祭

二月三日節分の日、加部島の田島神社で節分祭が行なわれ、近郷

近在からの参拝者でにぎわいました。

十一時より除災の神事が行なわれ後、拝殿で参拝者の皆さんが、「福はうち、鬼はそと」と豆をまき、春のおとずれをよろこぶと共に、今年一年間の繁栄と息災を祈りました。



田島神社節分祭

節分は、もとは立春、立夏、立秋、立冬などいづれも季節があらたまると時であったから、四季ともに節分であったのが、春ばかりにこの名が伝わるようになり、立春の前日のことを、いうようになり



ました。

節分行事で一般家庭で行なわれている鬼打ち、豆まきは、日暮れ前に大豆をいり、夜になってから「福は内、鬼は外」などと唱えながら豆を内外に投げ、鬼を追って戸口をとぎす行事です。

江戸時代以来都会の社寺でもこの除災神事が行なわれていますがこれは平安時代の宮廷では、十二月の晦日(つのもり)におこなつた追儺(ついな)鬼(やらい)の伝統が復興されたものと説明されています。

しかし春のはじめに神が訪れて祝福を与えてくれる、という信仰は古くからあり、そのため家に神を迎えて祭するためには、はらいをする必要がありました。

これらの風習が合わさって、悪鬼をはらう行事に成長したものです。



一月末日
現在

お誕生

宗 伸子(善康 長女) 釣町
谷口 悠子(博憲 長女) 中町
笹部みゆき(孝大 長女) 松浦町
玉木 利直(光幸 三男) 川端町
山崎久美子(俊雄 長女) 〃
戸村 善洋(正則 長男) 愛宕町
藤松 秀文(恵次 二男) 小友

金丸 竜史(和則 二男) 加部島
松尾みき子(清 長女) 〃
前田 仁司(栄司 二男) 小川島
吉川 栄二(和伸 長男) 〃
渡辺 剛史(保晴 二男) 〃



高砂や

川崎 尋利(成子) 先方町
松永 成子 殿之浦浜
藤松 久義 小友
古川 錦子 鎮西町
濱崎 清視(日数谷真弓) 殿之浦西
山角 正雄(井上きよみ) 佐世保市
唐津市



おくやみ

川崎真須男 76歳 先方町
丸井 カヨ 81歳 宮之町
熊本 信綱 40歳 松浦町
若松 實 74歳 殿之浦岡
山本 勇 70歳 殿之浦浜
山口数太郎 86歳 殿之浦浜
平松磯太郎 61歳 加部島

香典返しお札

川崎秀康殿(先方町) 故父真須男様
丸井正司殿(宮ノ町) 故母カヨ様
熊本杉栄殿(松浦町) 故夫信綱様
呼子町社会福祉協議会